

## 平成21年度高等専門学校情報処理教育研究発表会参加報告

電気・電子・情報系班 中村玲治

標記の発表会に参加いたしましたので報告します。

### 1.概要

高等専門学校の情報処理についての教育・研究についての発表会であり、今年で29回目です。

### 2.日時・会場

日時:平成21年8月27～28日

会場:長野市生涯学習センター(長野県長野市)

### 3.日程

8月27日

- ・研究発表
- ・特別公演 - 国立情報学研究所 所長 坂内正夫氏
- ・懇親会

8月28日

- ・研究発表
- ・産学連携シンポジウム (主催:特定非営利法人高専プロコン交流育成協会)

### 4.所感

私は今回、発表をしませんでした。多くの人の発表を聞いたのでそれについて記述したいと思いますが、すべて記載すると冗長になるので、申し訳ありませんがいくつかの発表を抜き出して、それについて記述することによって報告としたいと思います。

沼津高専の舟田先生・中道先生より、振り子の運動の解析とそれを利用した教材の作成について発表がありました。振り子は、私が中学生の理科で教わった際には比較的単純な法則により動作するものであると記憶していましたが、実際には、振り子にも様々な種類があり、振り子の種類によっては複雑かつ興味深い振る舞いをするところがあるとのことでした。

徳山高専では、ものづくり教育のため、短時間で容易に習得でき、原理や仕組みを実感を持って理解させるために、独自のコンピュータシステムおよび簡単な構造のオリジナルのプログラム言語を、C言語をベースに開発していました。作られたプログラム言語は、C言語と比べて、多くの予約語や仕様を削り、またC言語のポインタの代わりにJava言語の参照を取り入れるなどの工夫によって、学生が容易に習得でき、また本格的なプログラムを作ることのできるプログラミング言語を開発できたとのことでした。

また、ホームページにコンテンツマネジメントシステムを導入する高専が多数ありました。たとえば舞鶴高専では災害時等連絡システムのためにこれを使用していました。

これらの発表を聞くことにより、高等専門学校においての情報処理についての理解を深めることができました。また懇親会では、各校および企業などの方との交流を深めることができました。